

看護のプロフェッショナリズムを共有するワークショップ NEWS LETTER

第4回 ワークショップの開催報告

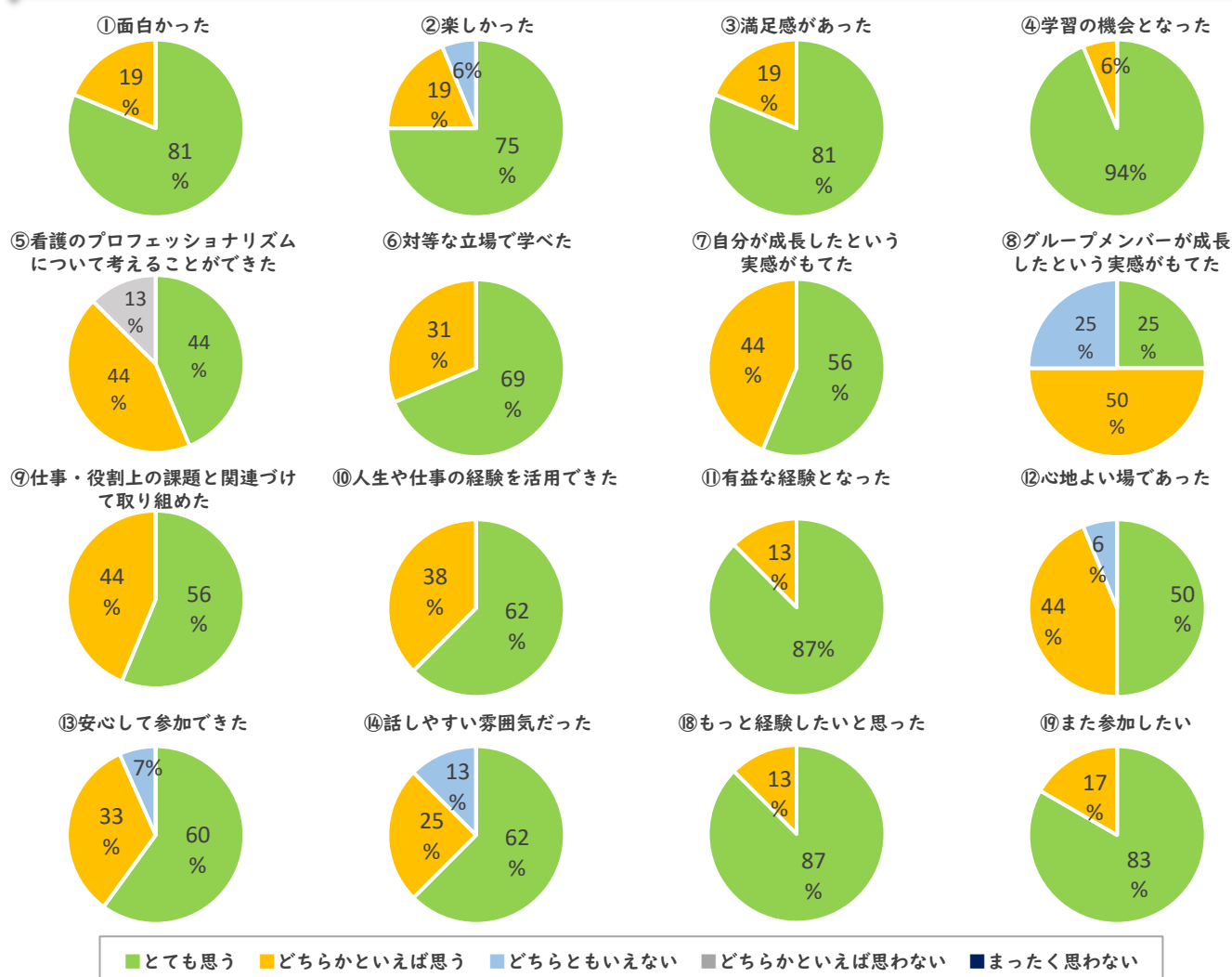
前回に引き続き『立場を同じくして対等に学ぶ』というテーマの中で、「心理的安全性」について話し合いました。プロフェッションとしての学びの場において、心理的安全性を保証するためには、その場を構成するメンバー個々の努力が必要であり、本WCの冒頭で毎回ご紹介させていただいている「グラウンドルール」は、まさにそのための手続きであることを改めて確認することができました。参加して下さったみなさまからの貴重なご意見を共有させていただきます。

主催者代表 佐藤 政枝

開催日時：2021年6月16日（水）18-20時

参加者：20名（看護職、看護大学生、大学教員、大学院生）

●ワークショップ後のアンケート結果（一部抜粋） 回答16名



自由記載で頂いた感想やご意見

- ✓ 始まって直ぐにグラウンドルールが提示され、心理的な安全性が確保されるという感覚を持った
- ✓ 同じテーマを扱っても、毎回違った意見に触れることができ、とても面白いと感じている
- ✓ 自分の中でずっと気になっていた疑問にあっさり折り合いがつけられたり、また新しい疑問を持つきっかけをもらったりと、WCに参加することで、多様な考え方の選択肢を与えてもらえているようで嬉しい
- ✓ 仕事上の自分と、職場を離れた自分では、感じ方や考え方が微妙に違って部分があることに気づき、これも学ぶ環境の影響かもしれないと考えた
- ✓ 発言することが苦手で少なからずストレスを感じていたが、話すことだけが目的でなく「聴き手」の役割に徹する参加の仕方もあるという意見があり、少し気持ちが楽になった